



### 資産運用こぼれ話 お金、感謝、そして信用

寄稿：岡本 和久

お金はとても大切です。なぜ大切かといえば必要なもの、欲しいものと交換できるからです。必要なもの、欲しいものが手に入れば誰でも「ありがたい」と思います。だから大切なお金を相手に渡すのです。それを考えればお金というのは感謝のしるしです



働くということは人から感謝をされることによってお金を得ることです。世の中のためになること、人々のためになることをして、その結果として、みんなから感謝をされてお金を得る。つまり正しい稼ぎ方をしているとお金と感謝が貯まることになります。

みんなから感謝されて得たお金を、幸福感が最大になるように使う方法が「ハッピー・マネー®四分法」です。それは「使う」、「貯める」、「譲る」、「増やす」という四つのお金の使い方です。

「使う」というのは今の自分が喜ぶ使い方です。「貯める」は少し先の自分が喜ぶためのお金です。「譲る」は自分のためではなく困っている人、あるいは良い世の中を創るためにお金を使うことです。そして「増やす」は、今すぐ必要としないお金を、今、必要としている会社に出資という形で使わせてあげることです。その会社が人々からお金を使わせてもらい世の中のためになる仕事をする。そしてみんなから感謝をされて集まってきたお金、つまり収益をずっと将来、出資者に増やして戻してくれる。これが投資の本質です。

人々から受けた感謝が貯まると、その人の信用が高まっていきます。個人のレベルでもそれは言えますが、同時に会社という組織でも同じことが言えます。世の中の多くの人から感謝される事業をしている会社の信用度は高まっていきます。

さらに言えば国家のレベルでも同じことが言えます。国民の多くから感謝されている国家は信用度も高いと言っているのだと思います。通貨は国家の信用に基づいて発行されていますから、そのような国の通貨は本当の意味で強いのだと思います。



## 長期投資仲間通信「インベストラ이프」

さらに言えば国際間でも同じことが言えます。世界中の多くの人から感謝をされている国は信用度が他の国よりも高いのです。そのような視点で今の国際情勢、あるいはその中における日本の状況を見てみると面白いのではないかと思います。

(この原稿は投資手帖 2018年10月号に寄稿したものに加筆修正を加えたものです)